



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

国際ロータリー2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2440回(本年度第27回)例会 2009.1.27

●例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場/東京第一ホテル鶴岡
鶴岡市錦町2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

樋渡 美智子

(※本日はポール・ハリスの命日であり、ロータリーの特別週間である「追悼記念週間」であるため、物故会員への黙祷から例会が始められた。)

◆望まれて生まれてきたのか？

旧チェコスロバキアの国で子どもの成長を200人ずつ2つのグループにわけて10数年追跡した。

その結果によると、望まれて生まれなかった76%近くの子は、非行にはいたりなどなんらかの問題があったという。

中学校の入学式も終わり、その後学級に入って父母と生徒に担任の話をした。この話が終わった時、ふたりの親が近づいてきて「B君と一緒にクラスでは困ります」と言われてもかえす言葉はない。

すでに、学級崩壊をしているという噂のあった小学校のクラス。問題の子どもたちは7つのクラスに分散された。

グループをつくることもなく、ひとり独走。書道の時間は、付近のワイシャツに墨を飛ばしてあそんでいる。座っている生徒に意味もなく手を出し、口も出す。授業時間には、遅れて平気。

しかし、最も真面目な時間は、給食を待つ時間であり、おとなしかった。給食の時間になると、だれよりも早くじっと座っている。

給食当番が配ったおかずの量をじっとみている。そして、他の子の量の方が多いとわかると、さっと交換。大好きな焼そばは、いつの間にかすっかり自分の食器に移す。菓子パン、ふりかけ、添加物、アイスクリームなど固形ものは、全員に配った筈なのに、「ない。」との訴えがでてくる。

「今日の献立は、あぶないよ」と、給食担当の先生。「給食の準備が終わりましたので」と、担任を迎えにくるのが通常である。だが、わがクラスは給食の準備が始まると同時に、教室へ。最も安全策は、全員が座った後に一人ひとりに手渡すことであった。

B君の兄弟は、6人。ちょうど夕食時に家庭訪問。丸い飯台に7人が囲み、一つの皿に盛られたおかずから各自皿にとるところであった。先を争ってとらないとおかずがなくなる。沢山盛ろうとすると、母親のそばにある棒でたたく。たたかれるのは、日常茶飯事。生活のなかに有効な3つのことばがある。

そば—ひきたて・うちたて・ゆでたて

スポーツ—走・攻・守 味—辛・酸・甘

農業—チソソ・リンサン・カリ

健康—運動・栄養・休養

そして、教育—地域・家庭・学校

幹事報告

越智 茂昭

◎ガバナー事務所より

・2009年2月のロータリーレート

1ドル=88円(現行88円)

・神戸国際囲碁大会申込書 〆切2/27

日時:3月7日~8日

会場:神戸ポートピアホテル

◎後藤第2ブロックガバナー補佐

第2ブロック新入会員セミナー開催のご案内

日時:2月28日(土) 登録受付:15:00

会場:グランドエル・サン

登録料:4,000円

◎第100回バーミンガム国際大会参加のお願い

2月は…

世界理解月間



出席報告

会員数	46名
出席	26名
出席率	60.46%
前々回確定出席率	69.76%

RI会長 李 東 建 地区ガバナー 武田和夫
 会長/樋渡美智子 副会長/佐藤孝子 幹事/越智茂昭
 会報委員会/松井 亨・北川米三



創立50周年式典
2009年4月18日

事務局:鶴岡市馬場町11-63鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

年男スピーチ



阿部 純次

5回目の年男、還暦を迎え
年男スピーチをするにあたり
少々調べかじったことを紹介
したいと思います。

「干支（えと）」とは、正確には「十干（じっかん）」と「十二

支（じゅうにし）」の組み合わせからなり、2009年の場合、「十干（じっかん）」は「己（つちのと）」、十二支はご存じ「丑」です。

自分、阿部純次は 1949 年、S24 年 2 月 21 日（月）生まれなので、干支は「己丑（ツチノトウシ）」となります。

干支(えと)の「干」は「十干(じっかん)」のこと。
10を周期とする十干は、陰陽五行説と結びついて、
甲、乙、丙、丁、…きのえ、きのと、ひのえ、…と
なります。十二支とは、子、丑、寅、…と12の周
期で月を表す記号であつたが、これを覚えやすくす
るために動物を割り振つたと言われております。

「十干」「十二支」が組み合わせられたものが本来の「干支（えと）」で、「甲子（きのえ・ね）」から始まり「癸亥（みずのと・い）」まで60種類の組み合わせができます。この干支がひとまわりして同じ干支が巡ってくると「還暦」となるわけです。

還暦に赤い物が贈られる由来は、赤ちゃんに還る（生まれた年の干支に還る）という意味と、赤は魔除けの色とされていたためであるとされているそうです。なお、120周年を大還暦、30周年を半還暦というそうでもあります。西洋では、ダイヤモンドを60周年の祝いに贈ったり、60周年の象徴とする風習があるそうです。

丑年の著名人では、ノーベル物理学賞の江崎玲於奈（1925年）や俳優の加山雄三（1937年）、作家の村上春樹（1949年）、米大リーガーのイチロー選手（1973年）、俳優・篤姫の宮崎あおい（1985年）などがあります。

当鶴岡ロータリークラブには、還暦を卒業した方が22名おります。その皆さんに比べればまだまだ私は若輩者ですが、これから70歳の「古希」(「人生70、古希稀なり」の詩…杜甫「曲江より」)、77歳の「喜寿」(喜寿の喜の略字が七十七と分解できるため)、88歳の「米寿」(米の字が八十八と分解できるため)、99歳の「白寿」(百の字から一をとると白となる)、100歳の「百寿 ヒャクジュ・モ

モジュ」(「紀寿」1世紀＝100年から)まで、私も、「白寿、百寿」を年齢なりに「らしく」目指すだけは目指して行きたいと思います。

「ロータリアンらしく・企業人らしく」といろいろの「らしさ」がありますが、近頃、あらゆる面で「らしさ」が失われてきているように感じられます。

かつては、[男は男らしく]、[女は女らしく]、[親は親らしく]、[子供は子供らしく]、[先生は先生らしく]、[生徒は生徒らしく]、あれと言われてきました。

「還暦」を迎え、いま一度、みずからあるべき姿を見つめ直し、果たすべき役割、取るべき態度に思いを致し、本来の「らしさ」を発揮して、自分の役割を忠実に誠実に果たしながら、「喜寿・米寿・白寿・百寿」へと歩んでいけたらと思います。

人間は物理的には125歳までは元気で生活できる動物とされているようです。先輩の方々も健康を維持していただき、120歳の「大還暦」（2回目の還暦）、までも元気でご活躍いただければ後輩の励みにもなります。是非頑張っていただきたいと切に願っております次第です。

委員會報告

クラブ広報委員会

RCに関するクイズ 40 問を作成してみました。
お時間がある時トライしてみてください。会社にお持ちいただければ採点をいたします。

SAA・出席委員会

●メイクアップされた方

藤川 享胤 佐藤 孝子 富田喜美子 北川米三

[illegible]

梶野隆博君 RCに関するクイズ作成の機会を
与えていただき感謝します。

阿部純次君 スピーチご清聴頂き感謝。年男として“モー”れつに頑張りたいと思います。

西川富美子君 先週の鰯汁移動例会有難うございました。

青柳孝治君 阿部さん、面白いお話ありがとうございました。私は子年、丑の背中から飛び降り一着になりました。

佐藤孝子君 阿部さん、スピーチありがとうございました。今日は孫の誕生日です。

藤川 享胤 君 阿部さん、面白いお話ありがとうございました。ゴルフにチャレンジだそうです。返り討にいたします。